



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 新日本理化学株式会社

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長

(氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,858	5.2	90	—	251	—	179	—
25年3月期第2四半期	14,129	△3.3	△69	—	4	△99.0	△110	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 756百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △284百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.80	—
25年3月期第2四半期	△2.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	35,245	13,126	35.2	333.05
25年3月期	34,227	12,378	34.1	313.34

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 12,419百万円 25年3月期 11,684百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,100	19.7	650	—	930	—	630	—	16.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	38,008,906 株	25年3月期	38,008,906 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	719,236 株	25年3月期	719,129 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	37,289,715 株	25年3月期2Q	37,290,318 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和などを契機とした円安・株高で着実に景況感の改善が見られるものの、実体経済への影響は限定的なものにとどまっており、欧州景気の停滞や新興国経済の減速など、依然として景気の先行きには不透明な状況が続きました。

化学業界におきましても、円安による原料価格の高止まりや新興国の景気低迷に加えて、国内では安価な輸入品との競合激化など、厳しい事業環境のもとに推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、営業部門に新たに設置した「技術サービス製品開発担当」スタッフによる積極的な顧客ニーズの探索強化に努めましたほか、原油・ナフサ価格の高騰に伴う製品価格の是正にも精力的に取り組んでまいりました。また、海外事業の一環として、米国市場での販路拡大を目的に、本年5月に「RiKAmerica Inc.」を子会社化し、グローバルでの販売・供給体制の強化を図ってまいりました。

しかしながら、長引く輸入品の流入や原料の高止まりに加えて、海外市況低迷などの影響を大きく受けたことから、当社グループの売上高は148億5千8百万円（前年同四半期比5.2%増）となり、損益面では、営業利益9千万円（前年同四半期は6千9百万円の営業損失）、経常利益2億5千1百万円（前年同四半期は4百万円の経常利益）、四半期純利益1億7千9百万円（前年同四半期は1億1千万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 油脂製品セグメント

油脂部門では、医薬分野向けグリセリンの販売は好調に推移したほか、ステアリン酸が金属石鹼・安定剤向け販売で期後半から堅調な動きが見られましたが、一部の界面活性剤向けにおいて輸入品への切り替えがありましたため、油脂製品部門としては、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

アルコール製品部門では、化粧品・トイレタリー分野向けは堅調に推移したものの、繊維油剤向けの不飽和アルコールの販売が総じて低調に推移したため、アルコール製品部門全体としての販売数量は増加したものの、売上高は減少いたしました。

以上の結果、油脂製品セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は45億5千7百万円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント損失は1億1百万円（前年同四半期は1億3千6百万円のセグメント損失）となりました。

## 石化製品セグメント

化成品部門では、可塑剤は住宅の着工件数は増加しているものの、主用途の壁紙・床材など内装材関連の需要回復までには至っておらず、また、相次ぐ輸入品の流入により厳しい販売活動を強いられました。

機能製品部門の国内販売では、自動車関連向けは順調に推移したものの、電機関連業界では需要低迷が継続し、ほぼ前年並みとなりました。一方、輸出販売では、欧州および中国で需要が低迷したほか、市場価格の低下により前年を大きく下回る結果となりました。

樹脂添加剤は、国内販売では前年並みに留まりましたが、昨年後半より海外市場で拡販に成功したことにより販売数量、売上高ともに大幅に増加いたしました。

以上の結果、石化製品セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は89億5千3百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は1億7千5百万円（前年同四半期比210.8%増）となりました。

## その他セグメント

その他セグメントにおきましては、車両洗剤・業務用洗剤は好調に推移したものの、防錆剤・水溶性切削油が前年を下回り低調な結果となりました。一方、商社部門では住宅関連業界向けおよび自動車関連向け販売が概ね順調に推移いたしました。

以上の結果、その他セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は13億4千8百万円（前年同四半期比9.9%増）、セグメント利益は1千8百万円（前年同四半期比127.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前年度末比+3.0%、金額で10億1千8百万円増加し352億4千5百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金、たな卸資産などが増加したものの、前連結会計年度末が休日であった影響などにより受取手形及び売掛金が減少したことから前年度末比△0.2%、金額で3千2百万円減少の178億6千3百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産、投資有価証券が増加したことなどにより前年度末比+6.4%、金額で10億5千1百万円増加の173億8千2百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末が休日であった影響などにより支払手形及び買掛金等が減少したこと、社債の償還を行ったことなどにより前年度末比△10.9%、金額で14億4千2百万円減少の117億6千6百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金の増加などにより前年度末比+19.8%、金額で17億1千3百万円増加の103億5千3百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより前年度末比+6.0%、金額で7億4千7百万円増加の131億2千6百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は35.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、2億2千3百万円増加し、22億円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は2千2百万円増加(前年同四半期は5億3千5百万円増加)しました。これは主に、減価償却費4億4千2百万円、前連結会計年度末が金融機関の休日であったため期日現金払等の決済が当第2四半期連結累計期間にずれたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は11億1千4百万円減少(前年同四半期は4億9百万円減少)しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8億3千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は13億2千1百万円増加(前年同四半期は7億3千8百万円減少)しました。これは主に、借入金の増加13億7千7百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,238	2,435
受取手形及び売掛金	10,871	10,309
商品及び製品	2,276	2,180
仕掛品	1,266	1,304
原材料及び貯蔵品	1,116	1,263
その他	129	371
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	17,896	17,863
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,464	3,463
その他(純額)	5,885	6,076
有形固定資産合計	9,349	9,540
無形固定資産	76	71
投資その他の資産		
投資有価証券	6,506	7,390
その他	401	381
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	6,904	7,770
固定資産合計	16,331	17,382
資産合計	34,227	35,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,633	5,998
短期借入金	1,660	2,041
1年内返済予定の長期借入金	2,397	1,909
1年内償還予定の社債	237	37
未払法人税等	45	51
賞与引当金	243	221
その他	1,991	1,505
流動負債合計	13,208	11,766
固定負債		
社債	114	295
長期借入金	5,001	6,485
退職給付引当金	1,924	1,874
役員退職慰労引当金	49	51
負ののれん	224	165
その他	1,325	1,480
固定負債合計	8,639	10,353
負債合計	21,848	22,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	1,841	2,020
自己株式	△170	△170
株主資本合計	11,578	11,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779	1,099
為替換算調整勘定	△673	△437
その他の包括利益累計額合計	105	661
少数株主持分	694	706
純資産合計	12,378	13,126
負債純資産合計	34,227	35,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,129	14,858
売上原価	11,990	12,650
売上総利益	2,139	2,208
販売費及び一般管理費	2,208	2,117
営業利益又は営業損失(△)	△69	90
営業外収益		
受取配当金	55	59
負ののれん償却額	59	59
持分法による投資利益	83	69
その他	15	56
営業外収益合計	213	243
営業外費用		
支払利息	68	66
為替差損	28	—
その他	42	15
営業外費用合計	139	82
経常利益	4	251
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	20	9
投資有価証券評価損	24	—
その他	6	—
特別損失合計	50	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△46	245
法人税、住民税及び事業税	34	40
法人税等調整額	13	5
法人税等合計	47	45
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△93	199
少数株主利益	17	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△110	179

四半期連結包括利益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△93	199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	320
為替換算調整勘定	△2	5
持分法適用会社に対する持分相当額	40	230
その他の包括利益合計	△190	556
四半期包括利益	△284	756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△301	735
少数株主に係る四半期包括利益	16	20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△46	245
減価償却費	444	442
負ののれん償却額	△59	△59
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△56	△49
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	2
受取利息及び受取配当金	△57	△61
支払利息	68	66
持分法による投資損益 (△は益)	△83	△69
固定資産除却損	20	9
固定資産売却損益 (△は益)	—	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	24	—
売上債権の増減額 (△は増加)	739	562
たな卸資産の増減額 (△は増加)	144	△89
仕入債務の増減額 (△は減少)	△397	△634
その他	△139	△267
小計	598	72
利息及び配当金の受取額	58	61
利息の支払額	△69	△74
法人税等の支払額	△51	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	535	22
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1	30
有形固定資産の取得による支出	△438	△830
投資有価証券の取得による支出	△0	△72
関係会社株式の取得による支出	—	△59
その他	30	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△409	△1,114
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	388	381
長期借入れによる収入	50	2,490
長期借入金の返済による支出	△915	△1,494
社債の発行による収入	—	196
社債の償還による支出	△18	△218
配当金の支払額	△183	△0
少数株主への配当金の支払額	△8	△8
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△50	△24
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△738	1,321
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△613	223
現金及び現金同等物の期首残高	2,283	1,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,670	2,200

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,650	8,252	12,903	1,226	14,129	—	14,129
セグメント間の内部 売上高又は振替高	218	558	777	132	909	△909	—
計	4,868	8,811	13,680	1,358	15,039	△909	14,129
セグメント利益又は 損失(△)	△136	56	△79	8	△71	2	△69

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,557	8,953	13,510	1,348	14,858	—	14,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	261	646	907	103	1,011	△1,011	—
計	4,818	9,599	14,418	1,451	15,870	△1,011	14,858
セグメント利益又は 損失(△)	△101	175	73	18	92	△1	90

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。